

作成: 芝崎

54. 学生～サラリーマン思い出篇:携わる製品が偶然の一致！！

(1) 学生時代: 夏休みに実家に戻った時、近くの「廣濟堂印刷会社」でアルバイトをした。
仕事は①枚葉機という印刷機の版作りを行った。それがどのように使用されるかわからず。
さらに、友人から②新聞輪転機(一式は5Fのビルの大きさ)の印刷工場の見学に行こうと誘われ、「毎日新聞社」で新聞ができる迄の一連の流れを見学した。

(2) 就職先は偶然の一致でまさかの印刷機製造工場で、違いはメーカーとユーザの立場のみ。
①枚葉機: 「廣濟堂印刷会社」の印刷機械は就職先工場で作成していたそのもの。
②新聞輪転機: メーカーは違っていたが、製作の流れはほぼ同じ。
製品に関する教育でどこかで見たなあという感じ、徐々にその思いがけない遭遇に驚いた。

印: (印)刷するのにロール紙を使用、最後に切断するのが新聞輪転機

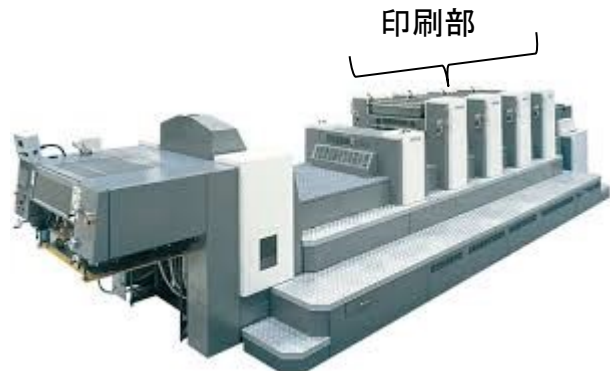
刷: (刷)るのに一枚毎に切断した紙を使うのが枚葉機

機: (機)会を得て、偶然にも印刷機械の製作所に就職でき、なんかの不思議な縁を感じる

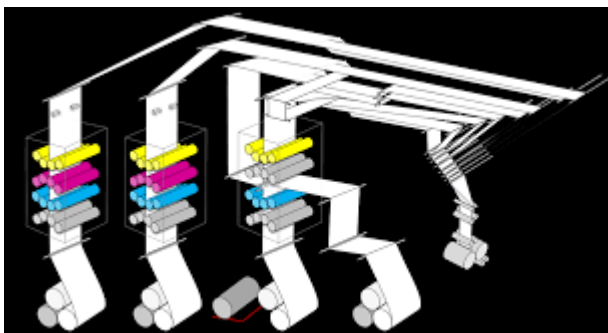
械: (界)に入り、印刷機械の奥深さ(ノウハウ、技術、各社との競争等)に触れる



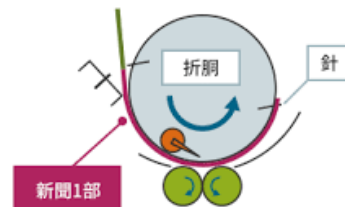
この偶然の遭遇によって印刷機械の製造の一連の流れ: まさに徹頭徹尾把握でき、この縁を踏まえて、その延長線上に繋がってきたように強く感じた。



枚葉機(赤・黄・青・黒の④原色がベース)



新聞輪転機 印刷機が(4H i)



新聞紙にするために折胴で針を刺し固定 (メーカーで針の数が異なる)

以上